

TE-W12HGシリーズ 取付マニュアル

TE-W12HG シリーズ (以降本製品と記述) の取り付けには、車両部品の取り外しや加工が必要になります。本紙に記載された手順や注意事項にしたがって取り付けてください。

本製品は純正イモビライザーを装着したホンダ車専用です。

適合車種以外の車には取り付けできません。必ず店頭または、当社ホームページのTE-W12HG専用適合表で適合情報を確認してください。

危険

マニュアル車へ取り付けすることは、絶対にしないでください。マニュアル車は、冬季にパーキングブレーキの凍結を防ぐため、パーキングブレーキをかけずにギアを「ロー」もしくは「バック」に入れて駐車する場合があります。また、坂道などに駐車する際にもギアを「ロー」もしくは「バック」に入れます。その状態でエンジンスタートを使用すると、無人走行の原因となり、思わぬ大事故につながります。



●マニュアル車には、取り付けできません。



●12V車専用です。トラックなどの24V車には、取り付けできません。

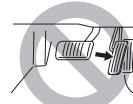


●外車・特種用途自動車には、取り付けできません。



●キーフリーシステム・スマートキーシステム・純正セキュリティアラーム装着車には、取り付けできません(適合車種除く)。

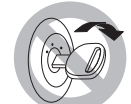
●平成元年以前の車でシフトロックが装着されていない車(フットブレーキを踏まずにセレクトレバーが「P」から移動できる車)には、取り付けできません。



●アクセル操作が必要な車



●チョークレバーを引く車



●年間を通じて、キーを回して2秒程度でエンジンのかからない車

●雨滴感応ワイパー装着車には、取り付けできません。取り付けすると車両故障の原因となります。

△注意 本製品の取り付けには、車両電装に関する専門知識が必要です。車両への取り付けは、お買い求めの販売店またはカーディーラーにご依頼ください。

△注意 配線作業時は、車両バッテリーのマイナス端子を外してください。バッテリーを接続したまま作業を行うと、コードをカシメる際やコードの接続時に工具が車体金属部分に触れてショートする恐れがあります。

△注意 あまったコード類はショートを防ぐため、必ず絶縁処理してください。また、ワンタッチコネクターやハーネスなどの接続部分には、必ず絶縁テープを巻いてください。

△参考 本製品を他の車両に取り付け直すときは、本体に記憶されているP/N検出データを消去する必要があります。その場合は本体の設定スイッチ2を一旦「フットブレーキ検出」にしてP/N検出データを消去してください。

配線のしかた

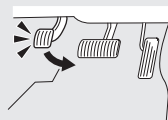
1 車両が次の状態になっていることを確認します。



セレクトレバーがパーキング(Pレンジ)に入っている

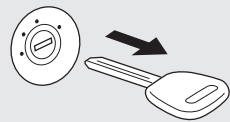


(サイド式)



(フット式)

パーキングブレーキがかけられている



キーが抜かれている

2 アンダーダッシュを外して、本体の取り付け位置を仮決めします。

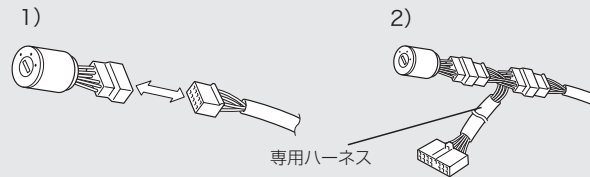
本体はアンダーダッシュ内に取り付けます。運転を妨げないか注意して、おおよかな取り付け位置を決めます。

△参考 まだ固定しないでください。

メモ 場所決めのポイント

- ・しっかり固定できますか?
- ・専用ハーネスの長さは足りませんか?
(ハーネスが本体に届かないときは、別売のTE201「延長ハーネス50」を使用してください。)
- ・本体の設定スイッチは切り替えやすいですか?
- ・本体のアンテナ部分が車両の金属部分(ボディやコード類など)から5cm以上、離れていますか?

3 車両のキーシリンダーのコネクターを抜き、本製品付属の専用ハーネス(TE54相当品)をしっかり接続します。



△注意 必ず正しいキーコネクターに接続してください。誤った場所に取り付けると、車両故障の原因になります。

メモ キーコネクターとは、「キーシリンダー裏から出ているコネクター」または「キーシリンダー裏から出ているコードにつながっているコネクター」です。

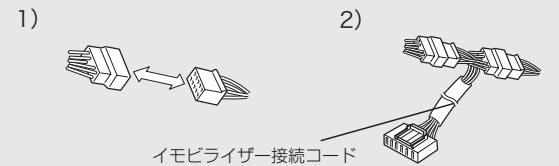
メモ 本体を接続していないと、キーでエンジンをかけられません。

4 アースコード(黒)を、車両の金属部分を固定している無塗装のボルトに共締めします。

△注意 アースが不完全のときは動作不良の恐れがあります。アースは正しく取り付けてください。

△注意 オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取り付けしないでください。機器が誤動作したり、オーディオのメモリーが消失する恐れがあります。

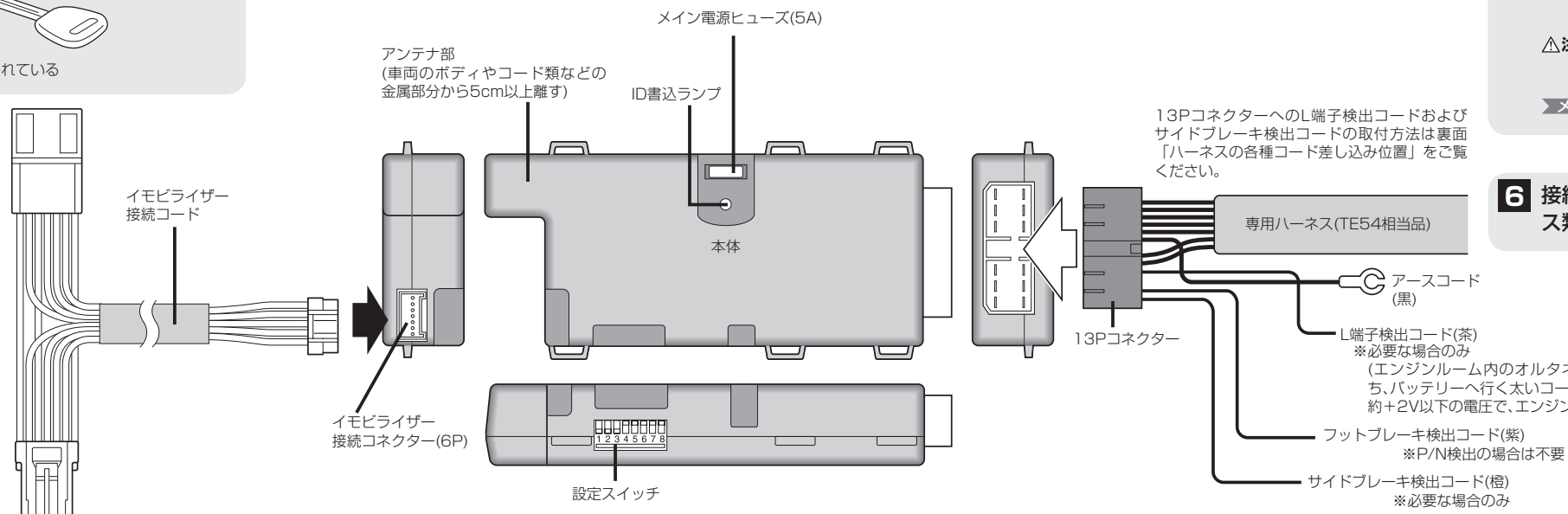
5 車両キーシリンダー付近のイモビライザーコネクター(緑または白)を抜き、本製品付属のイモビライザー接続コードをしっかり接続します。



△注意 必ず正しいコネクターに接続してください。誤った場所に取り付けると、車両故障の原因になります。

メモ 本体を接続していないと、キーでエンジンをかけられません。

6 接続図に従って手順3~5で車両に接続したハーネス類を本体に接続します。



ハーネス類の取り付けが完了したら、裏面を参照して動作確認と本体の設定を行ってください。

動作確認と本体の設定

車両の特性や使用環境に合わせて本体の設定をする必要があります。また、フットブレーキ配線を行う場合は、手順 **2** ~ **3** の作業を行ってください。

1 P/N検出が可能か確認します。

参考 本製品を他の車に取り付け直すときは、P/N検出データを消去する必要があります。その場合は本体の設定スイッチ2をいったん上側(「フットブレーキ検出」)にしてP/N検出データを消去してから、設定し直してください。

- 1) 車に乗ります。
- 2) セレクトレバーを「P」にして、イグニッションを「OFF」にします。
- 3) 本製品のリモコンでエンジンをかける操作をします。

エンジンがかかる場合

P/N検出データが設定済みか、フットブレーキ検出に設定済みです。このまま使用してください。

本体から音が出る場合

「ピー・ピー・ピー・ピー、ピー・ピー・ピー・ピー」と鳴ったときは、手順4)に進んでください。他の音が鳴ったときは、取扱説明書の「エラー表示一覧」を参照して対処してください。

- 4) 20秒以内にイグニッションを「ON」(メーターパネルが点灯する状態)にします。
スマートキー装着車の場合は、メカニカルキー(エンジンをかけることができるキー)をエンジンスイッチに差し込み、イグニッションをONにしてください。
メモ スマートキー装着車のキー挿入方法は車両の取扱説明書を参照してください。
20秒以内に操作できなかったときは、手順2)からやり直してください。

操作後、しばらくしてから本体が「ビ・ビ・ビ・ピー、ビ・ビ・ビ・ピー」と鳴ったとき

専用ハーネスの取り付け状態を確認してください。

操作してすぐに本体が「ピー」と鳴ったとき

手順5)へ進んでください。

- 5) 20秒以内にブレーキを踏みながらセレクトレバーを「D」または「R」にします。

20秒以内に操作できなかったときは、手順2)からやり直してください。

本体が「ビ・ビ・ビ・ピー、ビ・ビ・ビ・ピー」と鳴ったとき

車両がP/N検出に対応していません。手順**2**~**3**を参照し、フットブレーキ配線と設定を行ってください。

本体が「ピー」と鳴ったとき

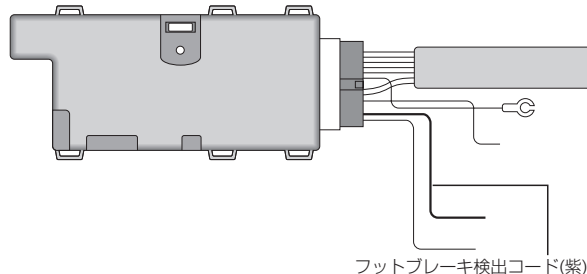
手順6)へ進んでください。

- 6) セレクトレバーを「P」に戻して、イグニッションを「OFF」にします。

これでP/N検出データの設定は完了です。

2 車両がP/N検出に対応していない場合は、付属のワンタッチコネクタで、フットブレーキ検出コード(紫)を車両の次のコードに取り付けます。

- ・車両のフットブレーキを踏んだときに+12V
- ・車両のフットブレーキを離れたときに0V
- *通常はブレーキペダルの根元にあります。



フットブレーキ検出コード(紫)

メモ 1) でP/N検出が設定できた場合はこの作業は不要です。

3 フットブレーキ検出コード(紫)を取り付けた場合は、設定スイッチ2「フット/PN切替」を「フット(上側)」にします。

メモ 1) でP/N検出が設定できた場合はこの作業は不要です。

4 車両のイモビライザーデータを本体に読み込ませます。

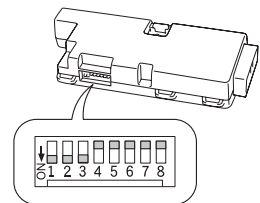
- 1) 車両に乗り込み、車両のイグニッションを「ON」(メーターパネルが点灯する状態)にします。
スマートキー装着車の場合は、メカニカルキー(エンジンをかけることができるキー)をイグニッションスイッチに差し込み、「ON」にしてください。

メモ スマートキー装着車のキー挿入方法は車両の取扱説明書を参照してください。

正しくデータが読み込まれると、本体のID書込ランプが3回点滅した後、消灯します。

- 2) 車両のイグニッションを「OFF」にして、キーを抜きます。
これでイモビライザーデータの読み込みは完了です。

5 用途に応じて、設定スイッチを切り替えます。



設定スイッチ

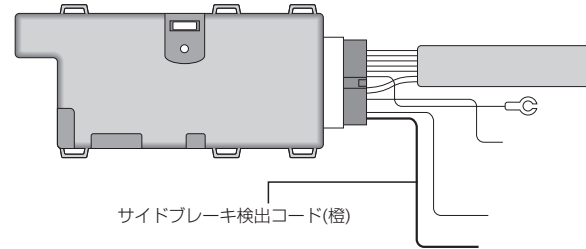
スイッチNo.	機能	OFF	ON
1	パーキングブレーキ検出	検出する	検出しない
2	フット/PN切替	フット	P/N
3	IG2制御	通常	特殊
4	L端子配線	なし	あり
5	未使用	-	-
6	グロータイム	8秒	5秒
7	未使用	-	-
8	ID書込	通常	書込

は工場出荷時設定です。

メモ 詳しい設定内容は、取扱説明書の「取り付け時の設定」を参照してください。

6 必要に応じて、市販のワンタッチコネクタで、サイドブレーキ検出コード(橙)を車両の次のコードに取り付けます。(右記「ハーネスの各種コード差し込み位置」参照)

- ・パーキング(サイド)ブレーキをかけたときに0V
- ・パーキング(サイド)ブレーキを解除したときに+12V



サイドブレーキ検出コード(橙)

メモ 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

7 設定スイッチ1「パーキングブレーキ検出」を「検出する(上側)」にします。

メモ 寒冷地などでパーキング(サイド)ブレーキをかけずに駐車する場合は、この作業は不要です。

8 動作を確認します。

- 1) 車両のセレクトレバーを「P」にします。
- 2) キーを抜き、パーキング(サイド)ブレーキをかけます。
- 3) リモコンでエンジンをかけ、エンジンが正常に始動するか確認します。

エンジンがかからないときや、ドアロックが作動しないときは、取扱説明書の「エンジンがかからないとき」を参照して対処してください。

- 4) リモコンでドアロック/アンロックの操作をして、ドアロックが正常に作動するか確認します。

メモ ドアロック操作に連動して、車両のハザードランプが点滅します。(ドアロック時1回、アンロック時2回)

9 本体を付属の結束バンド(大)でアンダーダッシュ内にしっかりと固定し、余ったコード類を付属の結束バンド(小)で運転の妨げにならないように束ねます。

10 付属の危険シールを、エンジンルーム内の目立つところに貼り付けます。

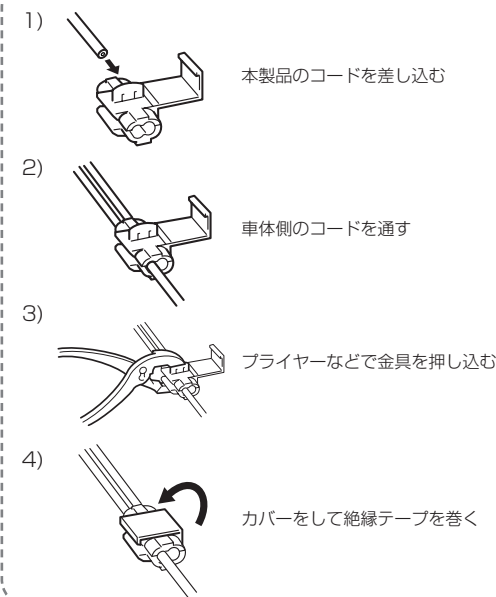


これで本体の取り付けと設定は完了です。

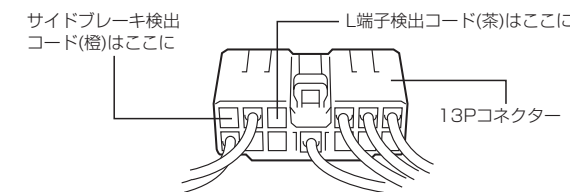
参考

車種別ビットマニュアル(取り付け情報)もご覧ください。ビットマニュアルの参照方法は、店頭で車種別ハーネス適合表をご覧ください。ただし、ビットマニュアルが用意されていない車種もございます。また、ビットマニュアルはオプションなどすべての配線を網羅するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

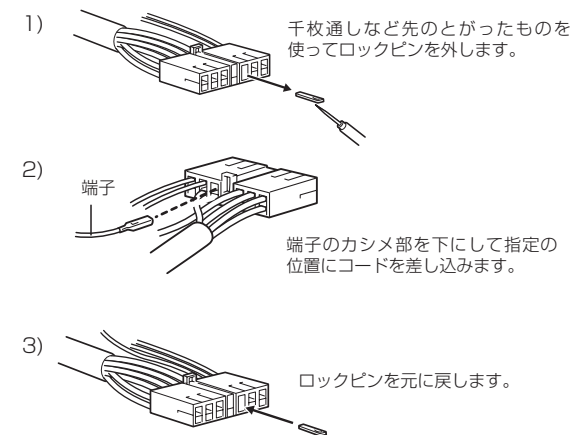
ワンタッチコネクタの使いかた



ハーネスの各種コード差し込み位置



コードの差し込みかたは次のとおりです。



取り付けに関するお問い合わせ先
 カーメイトサービスセンター
 Tel:(03)5926-1216(代表)
 Fax:(03)5926-1218